

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第2期

「災害への備え」コース

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名			手法	単元の概要	講師名	学習目標
2月13日 (木)	1限目 09:30～10:45	「災害への備え」総論	座学	自助・共助・公助による災害への備えの基本的な考え方や対策を学ぶ。	丸谷 浩明 (東北大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害予防の防災の中の位置づけ及び主な内容を説明できる。 ・災害予防における自助、共助、公助の意味と共助の重要性を説明できる。 ・防災における民間主体との連携のあり方を説明できる。 ・代表的な被害抑止対策について説明できる。
	2限目 11:00～12:15	「災害への備え」としての地域防災計画	座学	地域防災計画、地区防災計画等をどのように災害の備えに向けて活用するのかを学ぶ。	山本 晋吾 (兵庫県消防学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画の目的と概要を説明できる。 ・地区防災計画の目的と概要を説明できる。 ・地域防災計画等を有効に活用する方策について説明できる。
	3限目 13:15～14:30	地域の自主的な防災活動	座学	住民の自主防災組織の意義・役割と行政による推進策について学ぶ。	折腹 久直 (宮城県仙台市) 菅原 康雄 (福住町内会)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の目的と制度概要について説明できる。 ・自主防災組織に期待される役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の他の自主的な防災団体の役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の防災訓練の意義と基本的な方法について説明できる。
	4限目 14:45～16:00	企業防災	座学	企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学ぶ。	上田 奈穂子 (イオン)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定（地方）公共機関である企業の防災での役割と行政との連携を説明できる。 ・災害対応における企業の役割を説明できる。 ・災害協定の重要性と協定締結状況を説明できる。 ・企業の事業継続計画（BCP）の意義と特徴を説明できる。
	5限目 16:15～17:30	「災害への備え」ワークショップ	演習	自助・共助・公助による災害への備えの推進方策についてワークショップ形式で学ぶ。	丸谷 浩明 (東北大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・所属団体の減災対策（災害予防）における自助、共助の促進策についての議論ができる。 ・民間部門との連携のあり方についての議論ができる。
2月14日 (金)	1限目 09:30～10:45	行政のBCM	座学	行政におけるBCMの意味と策定のポイントについて学ぶ。	丸谷 浩明 (東北大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のBCP、BCMの意義と必要要素を説明できる。 ・重要業務に不可欠なリソースの確保の重要性と主な方法を説明できる。 ・訓練、維持管理、見直しの重要性とマネジメントを説明できる。
	2限目 11:00～12:15	住民啓発	座学	住民向けの防災の啓発の基本的な事項および具体例について学ぶ。	国崎 信江 (危機管理教育研究所)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の防災の責務と啓発の意義を説明できる。 ・住民啓発の方法を説明できる。 ・住民啓発の留意点を説明できる。
	3限目 13:15～14:30	防災教育・災害教訓の伝承	座学	地域に根差した防災活動を進めるための防災教育および災害教訓の伝承について学ぶ。	佐藤 健 (東北大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の意義と基本的な方法を説明できる。 ・学校教育又は課外活動における防災教育の具体的な事例を説明できる。 ・地域コミュニティ向けの防災教育の具体的な取り組み事例を説明できる。 ・災害教訓の伝承の意義と具体的な事例を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	災害ボランティア	座学	災害ボランティアの意義・役割と行政との連携について学ぶ。	栗田 暢之 (レスキューストックヤード)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア及びその活動の位置づけ・種類・特徴を説明できる。 ・災害ボランティアの受け入れ・調整に関する現地での仕組みを説明できる。 ・災害ボランティアの活動の実際と課題、展望を説明できる。
	5限目 16:15～17:15	全体討論	演習	災害への備えについて学んだことを、受講者が自らの組織でどのように反映させるのかを考える。	丸谷 浩明 (東北大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講の目的を再認識する。 ・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・研修を活かして次につなげることを認識する。